

平成 15 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 道具 登志夫
コード番号 2326 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
問 合 せ 先 取締役管理本部長 後藤 茂
(TEL 03-5485-1340)

平成 16 年 3 月期 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 15 年 8 月 7 日の「平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績の概況」発表時に公表した平成 16 年 3 月期中間期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当中間期の業績予想数値の修正(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	417	40	19
今回修正予想(B)	385	17	14
増減額(B-A)	31	22	4
増減率(%)	7.6	55.8	24.4
前年同期実績(平成 15 年 3 月期中間期)	366	45	24

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

2. 修正の理由

<セキュリティ事業>

当中間期におきましては、セキュリティ事業において、公共向け製品の売上が自治体、学校等の財政悪化の影響による需要の減少などから、売上高が 116 百万円(前年比 60.2%)と前年同期を下回り当初の予想と大きく乖離する結果となりました。こうした状況のなか、好調に推移する企業向け製品と堅調な家庭向け製品の販売に注力した結果、企業向け製品では売上高 141 百万円(前年比 142.6%)、家庭向け製品では売上高 37 百万円(前年比 230.4%)と大きく前年同期を上回ったものの、セキュリティ事業全体では売上高 295 百万円(前年比 95.6%)と若干前年同期を下回る結果となりました。

<インフォメーション事業>

インフォメーション事業においては、主力の「NET iScope」にて、前年同期では短期のスポット契約が数社あり一時的に売上が向上した経緯により、契約社数が前年同期の 63 社から当中間期は 66 社へ増加しているものの、当中間期における売上高は 52 百万円(前年比 96.9%)とわずかに前年同期を下回りました。

<その他の事業>

Webフィルタリング以外のソフトウェア販売が好調で、その他の事業は売上高37百万円(前年比1171.9%)と大幅に前年同期を上回りました。

こうした売上の状況を背景に、利益の創出に向け全社的な経費の削減を推進し、営業費用(売上原価と販売費及び一般管理費)を当初計画より9百万円削減いたしました。売上高全体では、385百万円(前年比105.2%)と前年同期を上回ったものの、計画に対しては31百万円未達となったことによって、経常利益が計画に対し22百万円未達の17百万円(前年比38.5%)にとどまりました。

3. 下期(平成15年10月1日～平成16年3月31日)の戦略について

<セキュリティ事業>

- (1) 今秋に発売を予定している大幅に機能拡張をした「i-フィルター Business Edition」の新バージョンを軸として、企業向けの販売を更に強力に推進する。
- (2) 官公庁向けの販売体制を強化する。
- (3) 塾や家庭向けメディア、関連団体との提携を推進し、Webフィルタリングの家庭への啓蒙活動と販売を強化する。

<インフォメーション事業>

- (1) 今までの情報収集ノウハウを生かし、マーケティング用の新サービスを展開し、事業強化を行う。

4. 業績の見通しについて

平成16年3月期通期の売上高及び利益の予測につきましては、期首の計画通り、売上高950百万円、経常利益201百万円、当期利益110百万円を予想しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
平成16年3月期の業績の見通し (平成15年4月1日～平成16年3月31日)	950	201	110

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

*本発表数値につきましては、監査法人による監査を受けていない速報値であります。今後の会計監査により決算発表時の数値と若干のずれが生じる可能性がありますので、予めご了承願います。

以上